

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成21年度 第7回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成22年1月21日(木) 13時30分～15時00分		
開 催 場 所	川西市役所 2階 202会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、小柳副議長、佐道委員、武村委員、渡邊委員、 未澤委員、眞田委員、野原委員、廣末委員 計9名	
	そ の 他		
	事 務 局	後藤こども部長、谷社会教育室長、小倉青少年支援課長、 宮脇社会教育室主幹、片山主任 計5名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 阪神南地区社会教育委員協議会研修会について (2) その他 2. 議 題 (1) 会議録の承認について (2) 年間テーマ 「地域教育の向上をめざしたしくみづくり」 ～人でつながる場づくり～ 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

議長	第7回社会教育委員の会を開会する。
事務局	挨拶
議長	<p>1. 報告</p> <p>(1) 阪神南地区社会教育委員協議会研修会について 平成21年11月27日(金)午後3時30分～ 議長より報告</p> <p>(2) 川西市PTCA青少年フォーラムについて 事務局より報告</p> <p>(3) その他 ・ 阪神北地区社会教育委員協議会研修会について</p>
副議長	<p>阪神北地区社会教育委員協議会研修会について、経過を報告します。昨日、コーディネーターと打合せを行いました。パネルディスカッションがうまく行くかは、パネラーの報告書と研修会の趣旨がうまく合致することが重要であり、その点を心配されていました。</p> <p>阪神北地区の社会教育委員協議会の年間テーマが「地域教育力の向上をめざしたしくみづくり ～地域のきずな～」になっているので、ここにつながるように上手く話を持っていかねばならない。</p> <p>パネラーによる活動紹介については、15分以内でお願いしているが、活動の発表のみでは、ボランティア活動の発表会になるので、「地域教育力の向上をめざしたしくみづくり」のテーマを意識してもらうことが必要だろう。同じベクトルで発表していただくことが必要とのこと。</p> <p>活動の紹介だけでなく、どのようなつながりで、活動が生まれて、活動を発展させていくため、どのようにブラッシュアップしていくか、しくみづくりのポイントとネックは何か、しくみや支援をどう求めるか、そのあたりを考えていただけるよう依頼しようと思います。</p> <p>パネラーの方には、地域教育力を念頭に話をしていただくようお願いします。</p>
議長	<p>途中経過の報告を頂いた。</p> <p>阪神北だけではなく、阪神南の社会教育委員の方も多く来られると思う。それぞれの地域で、リーダーになって活動されている委員の方々であり、ぜひ成功させたいと思います。</p>

議題に入る。

(1) 議事録について、承認を頂きたい。(全員承認)

(2) 年間テーマ 「地域教育の向上をめざしたしくみづくり」～人をつながる場づくり～について

翌2月で本年度の会議が終わり、年度末には、論議した部分を纏めて教育委員会に提出し、参考にしていただきたいと思います。

本日、教育委員との懇談会がこの会議終了後にありますので、それも含めて、論議していきたい。

過去に遡って、今までの話を整理していくと、5月、テーマを設定する時に、平成20年度で社会教育施設の論議が不十分であったとの反省もあり、また、新しい学校長の委員さんに学校の現状を聞いた中でスタートしたと思う。

学校の現状等も踏まえた上で、市民の方が学校の現状をどのように考えるのか、などをふまえ、テーマを昨年度と同じ「地域教育の向上をめざしたしくみづくり」とし、サブテーマを「人をつながる場づくり」と設定した。

6月には、学校支援地域本部について報告を受ける中で、学校と地域社会との連携のあり方や、教育課程外での応援は、わかる部分もあるが、教育課程内に入る部分の難しさ、学校の管理の面も論議したと思う。

7月には、社会教育施設や放課後子どもプランの実態の話聞く中で、施設の中での場づくりの視点で論じたと思う、特に放課後子どもプランと学校の実態等も含めて論じたと思う。

10月には、それまでの論議を踏まえて、青少年フォーラムの報告も聞き、公民館からも実態等、学校現場との絡みについて論議をした。

特に、民間組織、各グループとの連携が進みつつあるのではなかろうかとお話があり、阪神北地区社会教育委員協議会の研修会を利用し、川西市でまちづくりをされている部分を学んで行こうという論議を行った。

もう一度原点に戻って、人をつながる場づくりで、学校教育の部分と社会教育の部分のだけの論議ではなく、学校との関係の部分も論じた。

学校の置かれている立場、しかしながら、学校長の委員からは、地域の連携なかで、成果があるとの話があった。

今までの社会教育委員の会で論議した部分が、一つ一つ着実に進んでいるのではとの評価があった。

今までの5回にわたる論議を纏めていく方向で論議をして

C 委員	<p>いけたらと思う。</p> <p>「地域教育の向上をめざしたしくみづくり」で、個々の委員より纏め的に、思っておられることを言っていたらありがたい。</p> <p>議長の総体的な纏めを確認しながら聞かせていただいたが、その線で纏めていただいたらいいと思う。</p> <p>1 1月の議事録を見たが、上手く纏められているし、今までの会議録も見ているが、議長の纏めで進めていただいたほうがいいと思う。</p> <p>この一年、「地域教育の向上をめざしたしくみづくり」と大きなテーマで、私も纏め切れていない感じであり、皆さんの意見を聞きながら修正をしていきたいと思う。</p>
議長	<p>諮問を受けてから論議を行う委員会とは異なり、委員で題を決め、われわれで論じているので、進行等が慣れてないので、総論的になり、絞りきれない面もある。</p> <p>特に、社会教育委員の会は、それぞれが委員であって、社会教育委員会ではないので、それぞれ一人ひとりが独立した委員が集まっての会ですので難しい部分がある。</p> <p>過去3～4年は、同じようなことを繰り返しているが、教育委員会事務局サイド、市長部局サイドに一つ一つ取り入れていただいていると思う、無駄ではなかったと思う。</p> <p>今度、実施されるPTCAや青少年フォーラムも、教育委員会事務局と市長部局の子ども部を両方併せたような形で、連携されており、よかったと思う。</p>
A 委員	<p>この一年間、仕組みづくりという、具体的なものを作る大変さ、本当に、何かを作っていこうとすると時間的にももっと詰めてやっていかなければと思う。</p> <p>全体の感想では、家族に小中学生がいないと、学校と接する機会がなく、学校が地域とつながろうとしているのか分からないのが実情です。</p> <p>子ども達を地域で支えていくんだという時には、情報をしっかり発信していかないといけないし、その情報も偏ってはいけないと思う。</p> <p>大きな悪い情報のみが伝わって、実情を知らない大人は、偏って判断してしまうことが多いと感じた。</p> <p>毎年、成人式のニュースも暴れている映像が多かったが、今年は親に対し、感謝の言葉を言う成人式の映像もあり、いい情報をしっかり伝えないといけないと思う。</p> <p>自分が参加している場所には出入りしているが、それ以外</p>

	<p>の直接参加していないところについては、本当の姿が分からない。</p> <p>子ども議会を見ていて、子ども達の方が本当にすなおに市のことを考えていると感じた。それを取り上げてこれから先に継続しいこうという話があって、そういうことの積み重ねも大事で、そういうことを、子どもがいない大人に対しても情報が届くように発信の仕方の検討も必要と思う。</p> <p>先日、音楽会に行き、どの学年の子ども達もすごくパワーがあり、纏める先生のエネルギーを感じ、その先生を応援したい気持ちになった。</p> <p>子どものいない親は、そこへ行って初めて知ることが出来ることなので、そのような方々にも見てもらえるように、公民館祭りの時に、中学校の文化祭の作品などを展示するなど、地域の方に見ていただき、地域の方の知っていただく方法もいいのかと思った。</p> <p>自治会の会報に載っていたので、見た人は行ってみようかなと思われる。</p> <p>ただ、今学校に入るのには、許可証が必要で、普通の人にはない。</p>
C 委員	<p>以前に大阪教育大学附属池田小学校の事件があり、地域との繋がりを言われて、地域もそれなりに、積極的に参画していった経過がある。</p> <p>孫の送り迎えの関係でよく学校へ行くが、先生と親しいのですと通れるが、そうじゃない人は入れてもらえないと思う。</p> <p>学校は、どういう方向なのか。</p>
G 委員	<p>常日頃校門は、閉めておかなければならないが、当校は、校門を開けていただいて、事務所で、札を掛けていただいたらいいのですが、その手間があるので、ものすごく入りにくいとの印象があると思う。</p>
C 委員	<p>学校の校門の通用門に向けて、監視カメラがあると思うが。</p>
G 委員	<p>全部データを保存しています。</p>
議長	<p>当時、議会や、教育委員会サイドで論議されたと思う。</p> <p>学校教育課程内への学校支援地域本部の入り方、ボランティアの方が入り、連携も上手くできています。</p> <p>しかし現実的には、学校の管理責任もあり、その論議でい</p>

D 委員	<p>けば止まってしまう部分もあり、教育委員会も大変である。 学校側がなかなか見えて来ない、との論議もあり、野原委員から現実を聞き、スタートした経過もある。 また、D委員から違った角度からのお話を聞き、参考になった部分もある。</p> <p>色々なことを考える時に優先順位があると思うので、最優先はなにか、と基本において考えていかなければならないと思う。</p> <p>学校と地域との関わりについて、学校支援地域本部のお話を聞いた時に、学校が本来やるべきことと、学校外の人がやるべきことが曖昧になっていて、学校の方も困るだろうし、ボランティアに登録された方にも不満が出てくる。</p> <p>どちらも遠慮があるだろうし、活動自体、日が浅いので、不慣れな部分もあると思うが、学校がやるべきこと、家庭がやるべきこと、地域がやるべきことの役割分担の共通認識がないと、せつかくの制度が潰れていく感じがする。</p> <p>この頃、一部の保護者から本来は家庭で行うべき躰まで先生にしてくれとの要望がある。</p> <p>学校、家庭、地域がやるべきことと、やってはならないことを自覚し、三者が共通認識しないとだめだと感じた。</p>
議長	<p>学校支援地域本部の委員長もしており、出発点は、そうだと思う。</p> <p>学校の実情、子どもの実情、それぞれが上手く機能すればいいのですが、それが機能しない現状、学校が抱えている問題もあり、地域の学校は、地域のエネルギーで支援していくのがよいと思います。特に安全の部分なんかは、そうだと思います。</p> <p>図書ボランティアの部分は、学校のニーズもあり、上手く機能しています。</p> <p>また、特技を持っておられる方もおられますが、学校との連携を上手くやっていかないと、教育内容まで自分の思いを言われ、学校がその対応に時間を取られる部分もある。</p>
C 委員	<p>それに関連して、親の教育とか、地域の教育とかを誰がリーダーシップを振らなければならないのか。</p> <p>我々は、社会教育委員なので、地域との関わりを持つべきだと思うが、社会教育委員との交わりがまったくない地域もある。</p> <p>行政が方向付けをした上で、コミュニティや学校、我々のような役職を持った人間が協力し、地域の特性を生かしなが</p>

議長	<p>ら、方向付けして行けるようなものがないかなと思う。 同時に、それだけの力が我々にあるのかとの思いもある。</p> <p>我々の立場は、教育委員会にアドバイスをを行い、その後は教育委員会に委ねられる。 市民組織、まちづくり、コミュニティや、ボランティア、NPOなどの力が原点になると思うし、それを無視して、子ども施策は出来ないと思う。 社会教育、生涯学習との言葉は立派だが、具体的なものになると、学校教育と社会教育の橋渡しになると思う。</p>
C 委員	<p>我々は、繋ぎ役をすればいいのか、リーダー役をすべきなのか。</p>
副議長	<p>学校支援地域本部事業は、学校教育の向上を目指した仕組みで、地域の人が動くきっかけになっていると思う。 地域教育の向上とは何か、地域の教育力とはと考える。 子どもであれば、学校で学習し、地域の中で色々なことを学び、立派な大人になり、社会で活躍するのが目標になり、大人であれば、地域の中で成長していけるようなのが、地域教育かなと思う。 この十年で、いろいろな仕組みが作られてきており、以前は、市民と行政の協働はなかったと思う、あっても具体的なものは無かったのではと思う。 今地域で活動されている方は、行政の仕組みを利用したりして色々されていると思う、活発になっていると思う。 もう一つ進んでいくためにはと思った時に、今年の教育委員さんとの懇談会で、結局人ですよね。との話になり、人がいなくなったら進まなくなる。 学校や地域では、それを先導される方がいて、その方がいなくなったら終わりになるが、そうならないようにするのが仕組みづくりかなと思う。</p>
議長	<p>私も副議長と同じショックを受けた。 阪神北の研修会でも、人材育成の視点から社会教育を論じていくには、地道なその部分を共有しながらやっていくしかない。 市内でも、学校に絡めて活動されているリーダーに発表していただき、共有しながら、各委員さんが広めていく。 コミュニティでも、継続していくのが難しく、自分が倒れた後、誰か引き継ぐ人、関心を持っていただける方を増やしていけないと思う。</p>

<p>副議長</p>	<p>今度発表されるSさんは、公民館から生まれたグループで、人と人とのつながりから、最後は、ミュージカルまでしてしまう。</p> <p>時間はかかっても、そういうエネルギーは、文化の力というか、地域の力というか、そうでないと疲れてしまう。</p> <p>色々な組織活動があると思いますが、継続のためのバックアップをする工夫が必要と思う。</p> <p>コミュニティも地域教育の支えになる組織なのですが、そこで、次の方を育てることにエネルギーが注げるようなものが必要と思う。</p>
<p>E 委員</p>	<p>子どもが行っている学校で、今年はこのような事をしていただいた、その時に自分が立ち会えたので良かったと思ってしまう。</p> <p>継続することは重要なことだが、無理に引き継いで同じ事をするよりも、新しく違ったことをしてもらう方が、よほど、現実的に、親としてはいいと思う。</p> <p>引き継いできたから、同じことをするよりも、今はこれをする。との考えで、新しい事をする方が、子ども達にとっても親にとっても良いことだと思う。</p>
<p>副議長</p>	<p>組織は時代によって変わってくる、やりたい事が出来たら、新しいグループが出来てきたらいいと思う。</p> <p>それを下支えする人、それが組織かもしれないが、地域のために活動しやすい環境が出来ていく、それが仕組みかなと思う。</p> <p>コミュニティもいい組織かもしれないが、自治会も加入者が非常に減って、時代とともに自治会のあり方も変え、新しいやり方が出来て、違った形で、それで上手くいくかもしれない。</p>
<p>E 委員</p>	<p>川西市立の小中学校は、同じ川西市の中にあるのだから、教えることは、同じであってほしいと思う。が、それを言い出したら、地域によって環境などの差が大きいので、学校支援地域本部を立ち上げて、繋ぎ役がもちろん必要ですが、地域によっては、必要な部分と不必要な部分があるので、それを分ける役目もしていただいたら良いと思う。</p>
<p>議長</p>	<p>学校支援地域本部は、事務局より、中学校区毎の視点で、がんばってもらう方針が出されていると思う。</p> <p>最後は、学校毎になってしまう。そうってしまうと、差</p>

B 委員	<p>がありすぎるし、校長次第ということになってしまう。 地域や学校のニーズをと言うことで、学校のリーダーの判断が物凄く大きいのが現実だと思う。</p> <p>「地域教育の向上をめざしたしくみづくり ～人でつながる場づくり～」というテーマで毎年やってきて、それがどうなるのかな、と言うのが気になっていた。 事務局からの諮問に対して答申するのが良いのではと思う。</p> <p>現状としては、コミュニティ推進協議会の委員に、社会教育委員から入っているのが一番かと思っている。 そこで文化部の顧問として、文化祭の担当を8年間しているが、リーダーとして次の方に継続して行こうとしている。しかし、会長や部長が変わるので、一部門を担当しているが、それは社会教育委員としてではないと思っている。 社会教育委員としては、事業をするのではなく、何か伝えられるものがあればいいと思う。</p>
C 委員	<p>社会教育委員としては、具体的に何かをするのではなく、裏方でつなぎをしておればいいのかと思う。 表向きの顔は、いくつも持ちながらも、その時々顔は、違っていてもいいと思う。 これ以上に何かをなさないと、社会教育委員の受け手がなくなるような気がする。</p>
議長	<p>社会教育委員の会は、教育委員会に、社会教育の視点で意見を出して、教育委員会はそれを参考にして判断していただいたらいいと思う。 以前に委員をされていた上杉教授の本を読むと、このような時代だからこそ、人づくりが大切だという考えは良く分かる。 ただ、現実に公民館の有料化など財政的な部分も出てきているので、教育委員会にアドバイスできたらいいのかを論じる部分もあった。 学校長時代に校長会から委員になっていた方から、社会教育委員の会のことを発信をされていたのを記憶しているが、当時は、自分の学校のことで手一杯で、この会で論じられていることが遠くのことであった。 しかし、学校現場にもものすごく影響を与えることと思う。 根っこの部分は、人材をいかに作っていくかと、連携していくかで、川西は、川西式でしていけば良いと思う。 今の学校支援地域本部は、お金があるから良いが、お金が</p>

副議長	<p>ない形で運営が可能なようにしていかなければならない。 お金が無くても、コーディネーターを含めての連携を真剣に考えていかなければと思う。 やっていける地域を作っていかないと思う。</p> <p>先ほどもバックアップの組織の話があったが、その時にコーディネーターにお金が出ているが、継続していくにバックアップしていくコーディネーターなどは、専門性があり、技術が必要である。 そのような方に無償でやっていきなさいということでは、次の方が育たないと思う。 そのような時、税金によるのか、受益者である地域住民が基金を作る等の資金を作るのかして、お金も少し持ちながらでない、という仕組みが必要だと思う。 無償に頼るのは限界があると思うが、大半は無償なのですが、お金なしでは出来ないと思う。</p>
議長	<p>次回までに今までの論議のまとめの原案の作成に入らせていただきます。 この後、教育委員と意見交換をする中で、参考にさせていただいたらいいと思う。 全ての委員さんは、意見を発言してほしい。 今回は文章の形で纏めたいと思う。</p>
事務局	<p>2月9日に阪神北社会教育委員協議会の研修会を開催します。</p>
議長	<p>以上で閉会する。</p>